

千代田グループは7クラブで編成されている。久邇ガバナーは東京南RCの会員で当グループから選出されたことから、今年度は全面的に支援・協力することを申し合わせている。ガバナー公式訪問は、当グループの3クラブ合同（東京南RC・東京赤坂RC・東京麻布RC）がスタートとなっているのもそのためである。

今年度スタートしたばかりのため、当クラブの会長・幹事協議会（グループ協議会）の内容を活動報告に替える。

当グループの会長・幹事協議会の第1回目を3月4日（水）に開催した。自己紹介を行なった後、「RIテーマと地区重点目標」についての解説、テーマ公式訪問およびグループ協議会日程の確認が行われた。

会長エレクト研修セミナー（PETS）を翌週（3/10～3/11）に控えていたことから、「RIテーマと地区重点目標について」はPETSで直接、当時の久邇ガバナー・エレクトより直接伺った方が良いとの判断で、7つの優先事項についてのみ説明がなされた。

ガバナー補佐常設委員長会議では、グループ協議会の開催については「一部の月を除く原則毎月開催」することを提案されたが、千代田グループでは、「毎月開催するほど議題があるのか」との質問や「情報交換を主に、あるいはその都度1つのテーマを決めて開催したらどうか」との意見も出され、開催回数については今後煮詰めることとして、当日提案されたスケジュール案を各クラブに持ち帰り、各クラブのスケジュールとの調整を行なうこととなった。

第2回日のグループ協議会は、年度スタート直前の6月17日（水）に開催した。議題は次の5点。

- ①「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」提出の件
- ②「ガバナー公式訪問」について
- ③IM開催の件
- ④2010-11年度 青少年交換学生受入れの件
- ⑤ガバナー補佐並びに常設委員長合同研修会の報告。

IM開催については、様々な意見が出された。「やるかやらないかというよりも、皆が集まって討議する項目があるのかどうかを議論した方が良いのではないか」「当グループの中で会員同士が親しくなる機会をつくった方がいいと思うが、IM形式で毎年やる必要はないのでは」「やる必要はない」「やるなら1つのテーマで意見交換をした方が意義がある」「やるとすれば職業奉仕をテーマに選んだらどうか。職業奉仕はロータリークラブ独自のもの。ロータリークラブの存在価値を示すためにも職業奉仕に取り組んだらどうか」etc... IMの開催については、各クラブでも討議し、次回（9月）の会合で方向性（開催の有無を含めて）を付けることとなった。

青少年交換プログラムは従来、地区の青少年交換委員会から各クラブに受入れ打診がされたが、2010-11年度からはグループ毎に決定することとなった旨の説明があった。制度では受入れが8人なら派遣もその同数の8人となることから、受入れを何人にするかは各クラブがそのキャスティングボードを握っていることとなるとの説明も。従来の方法だと当グループの2クラブが同年度のホストクラブ候補となる。まず2クラブにクラブの方針について聞く。1クラブは「青少年交換プログラムについてはまだ話し合いを持っていない」とのこと。もう1クラブは「基本的に5年に1回ぐらいで受入れが回ってきている。当クラブが断れば皆様に迷惑をかけてしまうので何とか調整したいと考えている。ただ、前回と前々回受入れの際、ホストの奥様が大変困られたことがある。そのため、当ホストとしては青少年交換にアレルギーがある。結論が出るまでに時間がかかるかもしれない」とのこと。

青少年交換プログラムについての意見交換も行なわれ、「この事業はRIが提唱して世界中で行われている唯一のもの。我々ロータリアンがやらなければならない1番大切なことと思っている。この事業は自分のクラブだけでできるかということ出来ない。

単独のクラブがよその国のクラブと交換をしようとしても出来ない。準備があるため、少なくとも2年後のことは今決めておかなければ」と同プログラムの重要性についての意見が出された。当グループとしてはまずは前述した2クラブの受入れの有無状況を確認した上で、方針を決定することとした。

当日は7月の年度のスタートを控えていたこともあり、会議後は会食しての懇親会が行われた。その場では各クラブの会員増強への取り組み状況について情報交換が行われた。

また、千代田グループとして各クラブの事務局のあり方について、千代田グループのなかでプロジェクト委員会を設置して検討していくことも了承された。

